

大ヒット映画「ねこタクシー」藤沢での公開決定！

60年の歴史を閉じる「フジサワ中央」の閉館作品として上映

tvk 他が製作した映画「ねこタクシー」が、藤沢市の映画館「フジサワ中央」で8月21日（土）から公開されることが決定しました。フジサワ中央は1950年4月に開館、今年8月末で、この作品を最後に60年の歴史を閉じることになります。

本作は、動物シリーズのドラマと映画連動企画の第4弾で、6月12日から全国19館で上映を開始。7月末までの興行成績は、昨年単館系作品ながら大ヒットを記録した「幼獣マメシバ」（最終35館・興行収入8000万円）を大きく上回る140%超で推移しており、最終的には興収1億円に到達する見込みです。ヒットを受けて上映館も31館に。また、昨年10月に発売した原作小説は増刷を重ね七刷、上下巻累計16万部の販売を記録しました。

《企画概要》

原案・脚本は前述の動物シリーズをすべて手がける永森裕二。人付き合いが苦手なタクシー運転手（カンニング竹山）が、野良猫が「ねこタクシー」を開業するストーリー。もう一人の主演はオスの三毛猫、みーすけ（8歳）。オスの三毛猫は「福猫」と呼ばれ、出生率は1万分の1とも10万分の1とも言われる大変珍しい猫。間瀬垣の妻役には鶴田真由、娘役には山下リオ。

《ストーリー》

間瀬垣勤は、人付き合いが苦手なタクシー運転手。前職は中学教師。生徒とのコミュニケーション不全に耐え切れずに辞めた。妻と娘の3人暮らし。稼ぎも悪く、家で間瀬垣の居場所はない。いつも時間を潰す小さな公園で間瀬垣は、運命的な出逢いをする。土管の中からじっと見つめる、何ともふてぶてしい、おっさんのような猫。首輪には「御子神」の文字。その何ともいえない風貌に心を奪われ、御子神さんと一緒にタクシー営業を始める事を思いつく…

《キャスト》

カンニング竹山／鶴田真由／山下リオ／甲本雅裕／山田明郷／高橋長英 ほか

《スタッフ》

製作：「ねこタクシー」製作委員会、企画：AMGエンタテインメント、製作総指揮：吉田尚剛
原作：永森裕二（「ねこタクシー」竹書房刊）、監督：亀井亨

■ 今後の公開スケジュール

地域		劇場名	上映日程
大阪	大阪	シネマート心斎橋	7/10～
大阪	高槻	高槻ロコ9プラスシネマ	7/31～8/13
新潟	十日町	十日町シネマパラダイス	7/31～8/13
岡山	岡山	シネマ・クレール	7/31～8/13
山梨	甲府	甲宝シネマ	8/7～8/20
群馬	高崎	シネマテークたかさき	8/14～8/27
佐賀	佐賀	シアターシエマ	8/14～8/27
神奈川	藤沢	フジサワ中央	8/21～8/31
大分	日田	シネマテーク・リベルテ	8/28～9/10
山形	山形	MOVIE ON やまがた	8/28～
和歌山	和歌山	ジストシネマ和歌山	9/4～9/17
静岡	浜松	シネマイーラ	10/16～